

県産イチゴめじろ押し 大垣のカネ井青果でフェア



県産イチゴの魅力を発信するイベント「岐阜いちごフェア」が10日、大垣市高屋町のカネ井青果アスティ大垣店で始まった。12日まで。

J A全農岐阜と同店を経営する青果仲卸のカネ井青

果（岐阜市）が開く恒例のフェア。芳醇な香りの「濃姫」、酸味と甘味のバランスが絶妙な「美濃娘」、粒が大きくジューシーな「華かがり」の3種類に加え、同店限定でJ Aにしみの産

「とちおとめ」も並べた。

店頭にはずらりとイチゴが並べられ、多くの買い物客がじっくりと品定め。岐阜いちご3種類の100%生ジュースや金蝶園総本家の「いちご餅」の販売、イチゴの試食などもあり、にぎわった。

1000円以上買うと、岐阜いちごをデザインした車のおもちゃがもらえる。4パックを買った大垣市の女性は「よく買いに来る。甘くておいしい」と太鼓判。山田愛店長は「地元産イチゴのおいしさをたくさんの人に知ってほしい」と話す。

フェアは、ほかに愛知県内の3店舗で行われ、31日、4月1、2日にも開かれる。
(宮本寛)